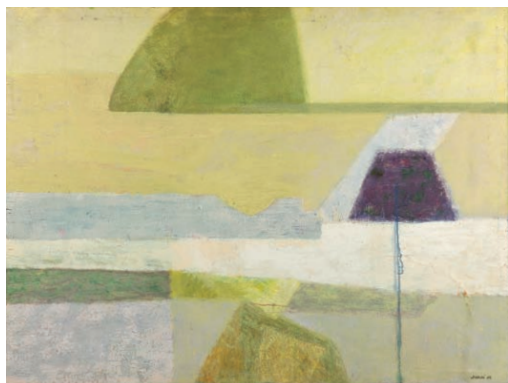




2



3



4



5



6



1

生誕100年 高井貞二展

—「昭和」を描いた人—

和歌山県高野口町で育った画家 高井貞二(たかいていじ 1911-1986)の画業を回顧します。

いまだ100年前、1911(明治44)年に生まれた高井は、1930(昭和5)年、19歳のときに第17回二科展へ出品した《文明》が入選し、メカニズムの画家として画壇に登場しました。飛行機や機械、ビルディングなど近代的な事物への素朴な憧れを反映させた作品は、東郷青児などモダニズムを代表する画家たちに注目され、高井は新進画家として認められていきました。

昭和初期の都市文化から刺激を受けながら、自身の絵画表現を追求する一方、『新青年』、『プロファイル』をはじめとするさまざまな雑誌の挿絵を手がけ、イラストレーターとしての仕事も始めています。仲間にも恵まれ、「新油絵の会」「集団 新挿絵」などの展覧会グループを創立するほか、二科展の新しい表現を目指した作家たちのグループ「九室会」にも加わって活躍しました。

1931(昭和6)年の満州事変以降、美術にも社会的な役割が求められるようになると、高井はアメリカの壁画運動に学び、より大衆に訴えるモチーフを従軍画家として取材した中国に求め、現地の風物や人々を写実的に描いて好評を博しました。そして、戦後はニューヨークに渡って抽象画家として再出発し、アメリカと日本の数々の展覧会で紹介されています。

時代とともに歩もうとした高井の多彩な作風の展開には、彼が画家として生きた昭和の揺れ動く世相が反映しています。その仕事を見ることは、わたしたちに社会と美術との関係について深く考えさせてくれる機会ともなるでしょう。

この展覧会では、戦時中の大作《国境の少年達》や、『中支風土記』『北を護る兵士達』挿絵原画など初公開の作品を含め、約150点の作品を出品します。

【関連事業】

- フロアレクチャー「ここにある作品をめぐって」(展示解説)
9月4日[日]、9月11日[日]、9月18日[日]、9月25日[日]、
10月2日[日]、10月9日[日]、10月16日[日]
*展示室にて、14時から45分程度、観覧券が必要です。
- スライドレクチャー「ここにはない作品をめぐって」(スライドを使った解説)
9月19日[月・祝]、9月23日[金・祝]、10月10日[月・祝]
*ホールにて、14時より45分程度、無料。

【同時開催の展覧会】

- コレクション展2011—夏／～9月4日[日]
生誕120年記念 特集 恩地孝四郎・藤森静雄
- コレクション展2011—秋／9月17日[土]～12月4日[日]
生誕120年記念 特集 保田龍門

【県立博物館(と)のり)の展覧会】

- 和歌山城と城下町に住む人々／～9月4日[日]
- 教典の美／9月10日[土]～10月13日[木]

*くわしくは同館まで(TEL.073-436-8670, FAX.073-423-2467)まで

- 1.《煙》1933(昭和8)年
- 2.《エミグラントの街》1940(昭和15)年
- 3.《北の国境》1943(昭和18)年
- 4.《故郷の風景》1956(昭和31)年
- 5.《イエニカエル》1959(昭和34)年
- 6.《鳥と魚》1965(昭和40)年

○技法：油彩・キャンバス
すべて和歌山県立近代美術館蔵

〒640-8137
和歌山市吹上1-4-14
[和歌山城むかい]
TEL.073-436-8690
FAX.073-436-1337
http://www.momaw.jp/
交通：
JR和歌山駅または
南海電鉄和歌山駅から
バスで約10分「県庁前」下車、
徒歩2分
駐車場：
1時間まで200円、
以降30分ごとに100円



和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA